

ラジオ・マニヤ百面相

私もあなたもラジオ・マニヤ，ラジオをいじらない日はない人種でしょうが，ひと口にラジオ・マニヤといっても広うござんす。とにかく組立てる間が興味津々で，できていざきこえたとなると忽ちバラしてしまうという製作マニヤと，組立てにはあまり興味はないができたセットでうんと遠くの放送をつかまえようと夜おそくまで頑張るいわゆる DX マニヤ，音楽がすきで，音質ばかり気になってああでもないこうでもないとスピーカーなどいじり廻す原音マニヤ，かと思うとラジオはすきではないんだが先立つものは何とやらと無闇と量産して売込んでいるアルバイト型マニヤ　これは本当のラジオ・マニヤではありません。

皆さんはいったいどの分類に入りますか。これからラジオをやりたいのだが，ラジオはヒロポン^{*1}みたいにやり始めると止められないそうだからその症状でもよくきいておかないとちょっと恐ろしくてという方もあるでしょうから，これからこの学名レディオメニヤなるヤマイの特異症状につき一席述べることにはしましょう。

製作マニヤ.....とにかくハンダ鑊^{こて}を持っていないことには気がおさまらないというような人たちです。その代り機嫌が悪くなったらちょっとハンダ鑊^{こて}を掴^{つか}ませればよいのですから簡単なものですが，ラジオを作ってからきこえてくる物音には大して興味がなく，作っている間が楽しいわけです。いろいろな本の変った配線など見つけると早速組んでみますが出来上ってきこえてくると翌日にはもうそのセットは影も形もなくなって別のセットを組み始めているといった調子。その一面，一度製作にかかったら食事などそっちのけで夢中になって，やれ抵抗だ，やれコンデンサーだとガラクタ箱をひっくりかえして余念がありません。このタイプのマニヤはたくさんいますし，この頃のように金詰りではそういくつかのセットの部品をバラレルに買いととのえるというわけにゆきませんから，心ならずも一つ作ってもすぐバラして次に流用するというシリーズ式方法を強いられ，不可抗力からこの型のマニヤになる人も多いものです。

聴取マニヤ.....これは作ることより聴くことに興味のある人です。一日中ラジオが鳴っていないと気がすまんとかいています。従って居間には電蓄，勉強室にはオールウェーブ，寝室にはベッド・ラジオ，浴室には防水ラジオ，外出にはポータブルと作る方もなかなか忙しく，これが少し変わってくると次の型になります。

DX マニヤ.....遠くの放送局をつかまえて悦に入っている人たちです。鉱石で東京から函館を聞いたとか，高1で全国の放送局をキャッチしたなどという工合，更に短波になるともっとハゲシくなって，サンフランシスコとかメルボルンあたりは珍らしくもなくなり，ギリシャとかエチオピア，タヒチなどと小さい局を探してコールサインでもきこうものなら飛上ってまるで天下をとったような勢になります。実際短波セットを組立てますと，始のうちは口サンジェルス，サンフランシスコあたりでも“おお太平洋波濤万里の彼方，シトロンかおるキャリフォルニアの声よ”とかいって目を細くしていますが，そのうちにだんだんこの症状を呈してきて，ひどい雑音の中から耳なれない言葉を拾い出そうと懸命になってきます。こんな風変りな局ばかりでなくても，短波でかかれる局には世界各国色とりどり，世界のモードの発祥地花の都シャンソン流れるパリー，スラングに馴れた耳には清冽な響と高い教養を思わせるロンドンのキングス・イングリッシュ，一日の疲れをいやすタンゴなら生粋のアルジェンチンはフェノスアイレスのボルテニア音楽，平和の国スイスのベルンからは美しい郷土色豊かなプロモ送られ，音楽愛好家にはモナコのラジオ・モンテカル口のヴァラエティーに富んだ番組も見のがせません。全く地球の裏側からでも一瞬に私たちのセットに飛込んでくるこれら短波放送にきき入るとき誰でも短波マニヤ，DX マニヤの気持はりんごでなくともおわかりになる^{*2}ことでしよう。

原音マニヤ.....音が良くなければラジオとはいえないと，やれスピーカーは複合型だの，やれプッシュがどうしたの，やれカソード・フロア^{*3}がどうしたのと年中いじり廻して原音の再生に余念のない人たちです。これはラジオをやる人は一応は当然ゆくはずのもので，マグネチック^{*4}でオーケストラの演奏を楽しんでいるなどはいささかおどろきです。こういう方々は一度良いセットの音を試聴してごらん下さい。どうですあのコントラバスの低音の雄大さ，そしてあのヴァイオリンのせせらぎ，トライアングルの可憐さ，たちまち貴方はこのヤマイにとりつかれて，へえあんな音が放送されていたのかねというわけであわててスピーカーをおっぱり出したり，フィード・バックをかけたり，パッフルを押込んだり大騒ぎを始めることうけ合いです。

*1 戦後流行した覚せい剤の名前

*2 1945年(昭和20年)敗戦の年の12月，映画「そよ風」の中で並木路子が歌った主題歌「りんごの歌」の歌詞の中に「りんごはなんにもいわないけれど/りんごの気持ちはよくわかる」という一節がある。この一節をもじったもの。

*3 正しくは「カソード・フォロアー (cathode follower)」。

*4 マグネチック・スピーカーのこと。並四ラジオなどで使われたスピーカー。再生できる音声周波数がダイナミック・スピーカーに比べて狭く，音が悪い。

コンプレックス.....さてこういったいろいろな型の複合症つまりコンプレックスがあります。実はかくいう筆者などもこのコンプレックスなのですが、短波の DX には霜凍る冬の夜でも丑^{うし}みつ時の静けさにダイヤルを廻してはロンドン、パリー、ローマ、ウイーン、オスロとヨーロッパの諸都を訪問し、夕闇迫る頃からはフェーディングもなく美しいメルボルンのクラシック音楽に耳傾け、そうかと思うとベッド・ラジオ、ポータブルと NHK ものを楽しむためにもセットを用意し、はたまた変った回路を実験しようとして作ってはこわし、バラしては組み、全く自分ながらアキれます。

さて皆さん。ラジオマニアとはこんなものですが、この楽しさはやってみた者、経験した人にしかわからないでしょう。立派なセットのすぐれた音をきき、短波のセットで外国からの呼びかけを受けてごらん下さい。しかもこうして自分で楽しめながら教養にもなり、科学の知識も身につけ、時には友だちのセット直しや組立てでアルバイトもできようというのですから一石五鳥位こんな間のいい話はありませんまい。

近いよいよテレビジョン放送も始められようという 20 世紀の半ばをすぎた今日、そのうちに DX も地球上なんて小さなことでなくなり、火星はおろか銀河系以外の宇宙の“地球人間特別プロ”をつかまえたり、いながらにしてニューヨーク、メトロポリタン劇場での歌劇や、パリーはシャンゼリゼーの街頭風景をたのしめる時代もくることでしょう。

PDF 化にあたって

本 PDF は、

『初歩のラジオ』(1950 年 5 月号)

を元に作成したものである。

PDF 化にあたって、仮名遣いは新仮名遣いに変更した。漢字の一部には振り仮名をつけた。

ラジオ関係の古典的な書籍及び雑誌のいくつかを

ラジオ温故知新(<http://fomalhaut.web.infoseek.co.jp/index.html>)

に、

ラジオの回路図を

ラジオ回路図博物館 (<http://fomalhaut.web.infoseek.co.jp/radio/radio-circuit.html>)

に収録してある。参考にしてほしい。